

かけはし

発行日：令和元年 11 月 15 日

発行者：
学校運営協議会
会長 但田 勝義
紙面編集
学校運営協議会事務局
担当：坂本 裕一

第2回学校運営協議会がありました

10月24日（木）午後1時から北海道稚内養護学校第2回学校運営協議会が開催されました。

まず、はじめに稚内市立声問小学校長山田篤秀氏と稚内市役所生活福祉部地域共生社会対策監高師伸恵氏に辞令が交付されました。

学校評価について質疑応答が行われた後、各部会に分かれ話し合いが行われました。話し合われた内容は下記の通りです。



部会1 学校評価部会

「地域アンケート項目から学校経営について協議する」というテーマで、アンケートの配布先について再検討されました。

以下のように意見が出されました。

- 進路を考えると市内、管内と範囲を広げてアンケートを取ることも必要かもしれない。しかし、アンケートの目的を明確にすることが大切である。
- 「学校便り」を特別支援学級に掲示してはどうか。
- 学校の様子を掲示物などで発信してはどうか。内容については簡単なもので、「詳しく知りたい方はこちら」と連絡先やQRコードを使ってもよいのでは。
- 学校のことをそれほど知ってもらう必要があるのか疑問に思う。

など多数のご意見をいただきました。

最後に本校の情報の発信については、これまでもラジオなどで行ってきましたが、今後は、SNSなどの活用も考えられるという話が事務局からありました。



部会2 地域連携推進部会

「地域と共に歩む学校を目指し、地域資源の活用による体験活動の充実」について話し合いが行われました。

- 地域ボランティアなどの協力を得ることができるのではないか。
- PTA 便りをコンクールなどに出すとモチベーションが上がるのではないか。
- 移動販売については、他の施設と同じ日時であればできなくはない。キャッシュレスも端末があれば可能である。
- 共生社会には情報共有（SNS の活用など）が大切である。

次に、「学校運営協議会を活性化するために」というテーマで話し合いが行われました。

- 保護者アンケートと教職員アンケートを相関図にし、保護者と先生方の思いの違いを前向きに考えてみてはどうか。
- まずは、運営協議会のメンバーに学校をもっと公開してくれるとよい。

など、多数のご意見をいただきました。



次回の学校運営協議会は2月に予定しています。